

令和4年度圏域の事業計画・収支計画

(南部地区)

守山学区

小津学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当学区の民生委員・児童委員、福祉協力委員等、公民館と日頃から連携し、地域の高齢者に関する相談などが迅速にできる関係を構築する。			
	支援が必要な高齢者等の情報が届くよう、担当学区内の医療機関、商業施設等にセンターの周知啓発を行う。			
2 高齢者の実態把握	学区ごとの地区診断をもとに、自治会ごとの実態把握を行い、住民のニーズの発見、地域課題へのアプローチを行う。			
	地区診断を健康面と生活面から分析することで、地域課題を抽出し、地域活動につなげる準備をする。			
3 相談窓口機能	ワンストップサービスの拠点として、関係機関と連携し、支援につなげる。			
	相談内容については、3職種で共有し、緊急時には、担当者不在でも速やかに対応できる体制を整え対応する。			
4 専門的な相談支援	個々のアセスメント能力の向上を目指し、定期的にセンター内で事例検討を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	高齢者虐待予防の啓発や通報窓口の周知を行い、虐待の早期発見、防止に努める。また、ハイリスクのケースを把握し、虐待予防に努める。			
	迅速に対応し、虐待につながる背景を総合的にアセスメントし、本人、養護者の両者への支援を関係機関と連携して行う。			
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度等を高齢者が適時活用できるよう、周知啓発を行う。			
	権利擁護事業、成年後見制度利用の必要な場合は、速やかに利用支援を行う。			
3 消費者被害の防止	関係機関や消費生活相談員等と連携を図り、消費者被害の状況、内容などについて把握する。			
	サロンや訪問時に消費者被害の有無等の情報を収集する。また、消費生活センターや警察等からの情報を発信し、注意喚起を行う。			
4 その他	成年後見センターもだまや社会福祉協議会と連携し、成年後見人制度、権利擁護事業の手続きが速やかに進むよう支援する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	多様な課題を抱える高齢者に対し、介護支援専門員等へのサポートを行う。			
	支援困難ケースについては、関係機関と連携し、様々な地域支援を活用し支援を行う。			
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	介護支援専門員の「地域との連携」に関するニーズを把握し、民生委員・児童委員など地域関係者とつなぐ。			
3 地域におけるネットワーク構築	基幹包括とともに地域の主任介護支援専門員、居宅管理者のネットワークの構築を行う。			
	事例検討会の実施や地域ケア個別会議への参加など介護支援専門員の実践力向上の機会を提供する。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。			
	家族介護者教室の講座等を通して市民への在宅医療、介護に対する啓発を行う。			
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携サポートセンターやその他、関係機関等との連携を行い、家族が不安なく自宅で介護できる体制を整える。			
	近隣病院の外来担当窓口と連携し、早期支援につなげる。			
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	近隣病院の地域医療連携室等窓口と日頃から連携を密に行い、スムーズな退院支援につなげる。			
4 その他	出前講座、家族介護者教室などでエンディングノートの啓発を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	南部包括で認知症サポーター養成講座を開催する。また、地域にも出向き、正しい知識の普及啓発を行う。			
	過去3年未実施の自治会への講座開催の啓発を行う。小津学区福祉協力委員向けにサポーター養成講座を行う。			
2 認知症初期集中支援の推進	認知症初期集中支援チームと連携し、早期に、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。			
3 認知症の人やその家族への支援	感染拡大防止の対策のもと、オレンジカフェ「お結びカフェ」を毎月1回定期的に実施する。また認知症ケースの受け皿としての活用を呼びかける。			
	「もの忘れチェック」を随時受付け、出前講座等出張型の実施をPRする。			
4 その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録を推進する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	支援困難ケースの地域ケア個別会議を開催し、関係機関、地域住民とともに課題解決に向けて取り組む。			
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議で明らかになった地域課題を地域ケア推進会議にあげ、解決のための政策を提言する。			
3 その他	南部の特色のあるテーマの事例で地域ケア個別会議を開催し、介護支援専門員、民生委員・児童委員等とともに地域課題の抽出を行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を5回シリーズで実施する。 男性介護者への参加呼びかけを強化する。			
2 家族介護者訪問	認知症家族介護者訪問を適宜実施し、介護の実態把握を行い、介護負担の軽減につなげる。			
	訪問前後に介護支援専門員と情報共有することで、必要に応じて介護支援専門員との連携や介護支援専門員の支援につなげる。			
3 その他	小津会館で、継続的に講座を行い、終了後に介護相談の時間をもつ。（小津なんでも相談会からの変更）			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画						
地域支援事業	包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント				
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。					
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○				
		より工夫して できている	できている	工夫が必要		
1 自立支援・重度化防止等への取組	地域の通いの場を介護支援専門員に周知することで、ケアプランへの位置づけを推進する。					
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	生活支援等のサービスが必要な場合は、資料や一覧表を活用し、インフォーマルサービスなどの情報提供・利用支援を行う。					
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	本人の希望、状況に合わせ公平・中立な事業所選定を行う。					
4 その他						
圏域の自己評価	事業全体についての総括					
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○	コメント				
	より工夫して できている				できている	工夫が必要

地域包括支援センター事業計画書および評価:南部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 介護予防把握事業	福祉保健の地区診断を実施し、課題抽出を行う。			
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室の内容を再検討し、教室終了後も継続できる内容のものを実施する。終了後フォローアップ講座を行う。			
3 地域介護予防活動支援事業	5年後を見据えた介護予防教室を自治会と協力して実施する。			
4 その他	各会館主催の教室において、介護予防講座（出前講座）を1回以上行う。			
	小津学区は会館で「いきいきプロジェクト」を継続実施する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

令和4年度圏域の事業計画・収支計画

(中部地区)

吉身学区

玉津学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当地区における民生委員・児童委員、生活支援コーディネーターや関係機関等との信頼のおける関係を作り、ネットワークの構築および整備を行う。			
	自治会館に頻繁に足を運ぶようにし、会館職員や地域住民と顔の見える関係づくりを行い、地域のネットワークやインフォーマルサービス等を把握する。			
2 高齢者の実態把握	地域の会議や行事等でのチラシ配布や圏域地域包括支援センター主催の行事を行うことで、地域住民・事業所等に中部地区地域包括支援センターの周知を行い、地域からの情報収集を図る。			
3 相談窓口機能	初期のアセスメントを適切に実施し、ニーズの把握を的確に行う。課題整理を行った上で適切な機関、制度、サービスにつなげる。			
	消費生活センターや警察等と連携を図り、被害にあった高齢者の状況等について把握を行い、再発防止の支援を行う。			
4 専門的な相談支援	支援困難事例については各職種の特徴を生かしながら課題整理を行い、支援の方向性を明確化し対応を行う。必要に応じて基幹型、関係機関職員と連携して対応する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関との連携を密にし、高齢者虐待の予防にかかる啓発や通報窓口の周知を行い、早期発見及び虐待防止に努める。			
	通報を受理したときは、虐待支援マニュアルに基づき、必要に応じて基幹型包括と連携し迅速に対応する。必要に応じて高齢者虐待対応支援ネットを活用し、高齢者への支援方法を検討する。			
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるよう関係機関や住民への周知啓発を行う。			
	認知症などにより判断能力の低下がみられる方には成年後見制度を適時活用できるように支援する。任意後見制度についても必要に応じて活用できるよう、職員の研修等を行う。			
3 消費者被害の防止	訪問時やサロン、圏域包括主催の行事等にて消費者被害の有無などの情報を収集し、消費者被害予防の周知・啓発活動を行う。			
	消費生活センターや警察等と連携を図り、被害にあった高齢者の状況等について把握を行い、再発防止の支援を行う。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員が抱える困難事例について、共に課題を整理し支援の方向性について検討し、後方支援を行う。			
	個々の困難事例の抱える課題を整理し、地域の課題として捉える視点を介護支援専門員と共有し、解決策を検討する。			
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	地域の高齢者に関わる団体、事業所の活動内容を把握し、実際に足を運んで顔の見える関係づくりを推進する。			
	地域の主任介護支援専門員と共に、介護支援専門員のアセスメント力や対応力の向上を目指す。			
3 地域におけるネットワーク構築	地域住民と介護支援専門員との顔の見える関係づくりのために、事例検討等共に地域課題を検討する機会をつくる。			
	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモートでの会議が中部包括発信で行えるように環境を整備する。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	中部包括において、市民への在宅療養・看取りやエンディングノートの普及啓発活動に関する出前講座を開催する。			
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	病院からの退院時等、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、在宅療養、看取りの推進に取り組む。			
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	本人や家族が不安なく最後まで自宅で療養できる支援体制を整えるため、在宅医療・介護連携サポートセンターや病院等が行う事例検討会や研修会等に参加し、事例に対する多職種連携の実践を学び、顔の見える関係づくりを推進する。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	認知症サポーター養成講座の未実施の地域を把握し、積極的に講座開催に係るアプローチを行い、地域に認知症の正しい知識の普及啓発を図る。			
	前年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、守山市キャラバン・メイト、認知症サポーターとの共労が少なかった。顔の見える関係を構築し、情報交換の機会を持つ。			
2 認知症初期集中支援の推進	「もの忘れ相談プログラム」をサロン等で活用し、認知症の早期発見・早期治療・早期支援につなげる。			
	早期から認知症の人に関わり、必要な医療や適切なサービスにつなぐことにより重症化の予防に努める。			
3 認知症の人やその家族への支援	認知症の人やその介護者が集い、介護者の負担軽減や悩みの解消ができる居場所づくりや相談場所として認知症カフェを開催する。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応や参加しやすい場所で開催する。			
	認知症による行方不明高齢者への迅速な訪問活動、関係機関との連携による対応を実施する。発見後も継続的な支援を行う。			
4 その他	行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録を推進し、行方不明となった場合に早期発見・対応ができるよう支援する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 地域ケア会議の開催	介護支援専門員と協働のもと、中部地区のケースを地域ケア個別会議にあげ、地域の現状や課題を抽出する。			
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議での検討事項や解決困難な事例の課題を整理し基幹型包括に報告するとともに、地域ケア推進会議などで政策提言を行う。			
	日常でのケース対応や地域ケア個別会議での検討事項を踏まえて、不足している資源を社会福祉協議会と共有し、地域資源の開発に努める。			
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を5回シリーズで年1回開催し、介護の知識・技術の習得と参加者の交流による介護負担の軽減を図る。			
	中部地区における男性高齢者(介護者含む)の交流の状況やニーズを把握し、交流の機会を増やせるよう方策を検討する。			
2 家族介護者訪問	認知症介護者に対し訪問を行い、介護者の健康状態と介護状況を把握する。また、介護支援専門員と連携し介護者の介護負担の軽減を図れるよう支援する。			
	支援が必要な介護者に対し、継続した訪問でフォローを行い介護に対する不安や負担感の軽減に努める。			
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 自立支援・重度化防止等への取組	「お口のフレイル」予防の必要性について知識を深め、出前講座等を活用し、「お口のフレイル」予防の啓発に努める。			
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	生活機能を改善する必要がある高齢者に対してアセスメントし、生活動作の改善に必要な運動器の機能向上を目指す等適切なサービス利用につなげる。			
	新型コロナウイルスによる閉じこもりからのフレイル予防に重点をおき、「守山プラス体操」のDVD等を活用することで自宅でもできる運動の普及を促進する。			
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	基幹型包括と情報共有し、公平中立な事業所選定を行う。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 中部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 介護予防把握事業	総合相談・訪問などから閉じこもり等で支援を必要とする人を早期に把握し、地域での通いの場などへの参加を促進する。			
	地域に向けての介護予防の出前講座を実施し、地域全体での介護予防の意識の向上を図る。			
2 介護予防普及啓発事業	介護予防教室や出前講座を実施し、各地域で介護予防活動の輪が広がるように支援する。			
3 地域介護予防活動支援事業	中部地区の各自治会において、高齢者の居場所・介護予防活動支援の拠点となる取組を推進する。			
4 その他	まだ出前講座等行えていない自治会にアプローチし、介護予防についての啓発活動を行う機会を持つ。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

(様式3)

令和4年度収支計算書および収支予算書

守山市中部地区地域包括支援センター

(単位：千円)

区分	項目		予算額			
			金額	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	29,594			
	その他収入		0			
	収入合計 (a)		29,594			
支出	人件費	正規職員 (2人)	15,837	賞与、社保、退職共済 含		
		臨時職員 (3人)	11,764			
	事務費	報償費	20	外部講師謝礼等		
		旅費	30	外部研修参加費、研修 交通費		
		消耗品費	275	事務用品、日用品等		
		燃料費	60	車輻燃料費		
		印刷製本費	95	コピーカウント料金、 封筒印刷代等		
		医薬材料費	65	消毒液、マスク等		
		通信運搬費	500	電話料金、携帯電話料 金、郵送料等		
		保険料	118	自動車任意保険、社協 の保険等		
		使用料および賃借料	680	公用車、PC、コピー機 リース、水道高熱等		
		委託料	10	振込手数料等		
		備品購入費	40	事務備品等		
		修繕費	80			
	その他雑費		20	お茶代、他諸経費		
	支出合計 (b)		29,594			
収支差 (a) - (b)		0				

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。

令和4年度圏域の事業計画・収支計画

(北部地区)

河西学区

速野学区

中洲学区

守山市地域包括支援センター

地域包括支援センター事業計画書および評価: 北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	総合相談支援業務		
基幹からの重点事項	担当地区における地域の相談拠点となるよう広くセンターの周知・啓発を行うとともに、住民に地域の相談窓口として認識してもらえるような取組を進めること。併せて、各学区ごとの高齢者および関係機関等の状況を把握し、円滑なセンター運営のためのネットワーク構築を図ること。また、総合相談フローに基づく緊急度のアセスメントを適切に行い、状況に応じた迅速な対応をめざすこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域におけるネットワーク構築	担当地域の民生委員・児童委員、生活支援コーディネーター等関係者や市社会福祉協議会のネットワークの構築と整備を行う。			
	インフォーマルサービス等の社会資源を把握し、必要時に情報提供を行う。			
2 高齢者の実態把握	安否確認等の通報があった場合は、対象者の情報を収集し、基幹型包括と連携し対応する。			
	地域より相談があった場合、基幹型包括と共有した上、ケアマネジャーや民生委員・児童委員と連携し、訪問等により状況把握する。			
3 相談窓口機能	相談内容については事業所内で随時共有し、担当者不在であっても速やかに対応できる体制を整える。			
	課題整理、方向性を検討した上で適切な機関、制度、サービス等につなげる。また、関係機関との連携を随時行う。			
4 専門的な相談支援	支援困難事例を把握した場合、課題を明確化した上で、対応方法を検討する。また、基幹型包括や関係課職員との連携を積極的に図る。			
	年1回地区診断を更新し、地域の特性や課題、高齢者の実態とニーズを把握する。また、地域に向けて発信する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	権利擁護業務		
基幹からの重点事項	住み慣れた地域で高齢者が尊厳ある暮らしができるよう、権利擁護のための諸制度の活用を支援すること。虐待対応について、緊急性を常に意識し、必要に応じて担当課や基幹型と連携するなか、迅速な対応を行い早期の終結をめざすこと。また、地域住民や事業所等に対し、虐待の予防につながる取組を実施すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 高齢者虐待への対応	民生委員・児童委員、地域住民や関係機関、地域の介護支援専門員との連携を図る。高齢者虐待予防にかかる啓発や通報窓口の周知、早期発見につながるよう、出前講座等により発信する。			
	通報を受理した時は、虐待支援マニュアルに基づき、基幹型包括と連携し、迅速に対応する。また、必要に応じて高齢者虐待支援ネットワークを活用し、高齢者への支援方法を検討する。			
2 成年後見制度等の活用促進	権利擁護事業、成年後見制度など高齢者が適時活用できるように関係機関や地域住民へ無料相談会等の情報提供と制度について周知啓発を図る。			
	地域のケアマネジャーや民生委員・児童委員等に向けて専門機関の協力のもと勉強会を開催し、認知症などにより、判断能力の低下が見られる対象者へ活用支援ができるしくみを作る。			
3 消費者被害の防止	高齢者世帯への訪問や出前講座時に、消費者被害防止に向けての周知啓発を行う。			
	消費者被害の相談時は、速やかに地域の交番や消費生活相談員との連携を図る。			
4 その他	地域におけるひきこもり等の実態把握に努め、必要な機関へつなげる。			
	年1回地区診断を更新し、地域の特性や課題、高齢者の実態とニーズを把握する。また、地域に向けて発信する。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		
基幹からの重点事項	地域の高齢者等が本人の能力を活かしながらその人らしい暮らしを継続でき、課題解決のために社会資源を自己決定により活用できるよう、介護支援専門員の活動を支援すること。地域全体のケアマネジメント力の向上に向け、地域の主任介護支援専門員とともに介護支援専門員の資質および対応力の向上に取り組むこと。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援	支援困難事例相談時は、介護支援専門員の抱える課題を整理し、支援の方向性を検討した上、後方支援に努める。			
	相談事例より考えられる北部圏域の地域課題の抽出を行う。			
2 包括的・継続的ケアマネジメントを行うための環境整備	自立支援型ケアマネジメントについて事業所内で勉強会を行い、介護支援専門員からの相談時に対応できる力を身につける。			
3 地域におけるネットワーク構築	地域の介護支援専門員と民生委員・児童委員対象の勉強会を年2回開催し、地域包括を含めた関係づくりと地域づくりについて考える機会を持つ。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	在宅医療・介護連携推進事業		
基幹からの重点事項	地域住民に対して在宅医療や看取りについての情報を広く周知し、在宅医療・介護連携サポートセンターと連携を図るなか、身近な地域で高齢者や家族等が安心して相談できる体制整備を行うこと。出前講座や各種教室等の機会を活用して、エンディングノートの普及啓発・活用促進を図ること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫してできている	できている	工夫が必要
1 在宅医療・介護連携事業の周知・啓発	出前講座時に、在宅療養・看取りについての相談窓口（在宅医療・介護連携サポートセンター）やエンディングノートの普及啓発・活用促進を行う。			
2 在宅医療・介護連携に関する相談支援	退院時等において、在宅医療・介護連携サポートセンターとの連携を図り、本人・家族が不安なく療養できる支援体制を整える。			
3 在宅医療・介護連携推進のための多職種連携	病院と地域包括の勉強会に定期的に参加し、入退院時支援における課題の共有とシームレスな支援ができる体制づくりを検討する。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価: 北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	認知症総合支援事業		
基幹からの重点事項	認知症の人やその介護者等が地域で安心して暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図ること。認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の早期発見・早期支援に努めること。また、介護者の負担軽減のための取組を進め、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録制度について周知啓発を行い、行方不明時の早期発見・対応に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 認知症に関する正しい知識の普及啓発	北部包括主催の認知症サポーター養成講座を未実施の地域等において開催し、認知症の正しい知識の普及啓発を行う。			
	守山市キャラバン・メイト、カフェボランティア、認知症サポーター等、活動関係者とのネットワークづくりや情報共有を行う。			
2 認知症初期集中支援の推進	相談時には認知症初期集中支援チームを活用することにより、早期介入し、必要な医療や適切なサービスにつなぐ等、重症化の予防に努める。			
	行方不明高齢者への早急な訪問活動、関係機関との連携による対応や発見後の支援、行方不明高齢者等SOSネットワーク事前登録申請の推進を行う。			
3 認知症の人やその家族への支援	出前講座等において「もの忘れ相談プログラム」の周知啓発を行い、認知症の早期発見・早期治療等の支援につなげる。			
	新型コロナ等感染症の拡大防止の対策のもと地域の身近な居場所や相談場所として、認知症の人や介護者が集えるように、認知症カフェ「ほっこり庵〜絆」を北公民館にて毎月開催する。			
4 その他	高齢者の車の運転について個別の相談時には、認知症初期集中支援チームや運転免許センターの職員と連携し、必要に応じて専門医受診につなげる。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	地域ケア会議推進事業		
基幹からの重点事項	地域ケア個別会議を開催し、課題の抽出を行うなか、担当地区の実情に応じた取組、資源開発、政策提言等に努めること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 地域ケア会議の開催	北部包括に相談があった事例を基に、地域の問題点や課題を整理し、基幹包括主催の地域ケア個別会議にあげることで地域課題の解決方法を検討する。			
	北部包括主催の地域ケア個別会議を年2回以上開催し、事例の個別課題と北部圏域における地域課題を整理する。			
2 資源開発および政策提言	地域ケア個別会議の事例を基に、関係機関と共に社会資源と地域づくりについて検討する。			
	学区ごとの地域づくりの会議に参加し、地域における取組を知り、地域住民主体の活動の推進を支援する。			
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	家族介護支援事業		
基幹からの重点事項	家族介護者等への支援のため、家族介護者教室等の事業を実施すること。対象者や内容の選定等について、担当地区の地域特性に応じて検討し、多くの住民の参加を促すこと。また、認知症家族介護者訪問等を活用し、介護の実態把握を行い、介護者負担の軽減および虐待防止の取組につなげること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 家族介護者支援事業	家族介護者教室を北公民館にて4回シリーズで年1回開催し、介護に対する知識の普及啓発や介護者自身の精神的な負担軽減を図る。			
	男性介護者の介護による孤立や精神的な負担の軽減を図れるよう、家族介護者教室や男性介護者の集い等交流の場の紹介や個別の相談支援を行う。			
2 家族介護者訪問	認知症介護をしている家族に対し、訪問等により健康状態や、介護負担についての状況を把握する。また、介護支援専門員と連携し相談支援を行う。			
	虐待防止の視点より、支援が必要な介護者に対して、介護支援専門員や民生委員・児童委員と連携し、継続した支援を行う。			
3 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント		
基幹からの重点事項	高齢者のフレイル(虚弱)予防のための取組を進め、自費サービス、サービス未導入者などについて、フォーマル、インフォーマルサービスの活用促進を検討し、地域において自立した生活を送ることができるよう支援すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況(自己評価) ※いずれかに○		
		より工夫して できている	できている	工夫が必要
1 自立支援・重度化防止等への取組	北部地区の高齢者の現状を把握し、地域のリハビリ専門職と協同し、フレイル予防を目的とした自立支援や重度化防止について検討する。			
	高齢者が自立した生活を送れるよう、地域における体操や活動の場の情報提供を行い、利用促進を支援する。			
2 自費サービス利用者、サービス未導入者等への支援	介護予防教室等の参加者に対し、フレイル予防に向けてアセスメントし、ADLやIADLの改善に向けた必要な運動器の機能向上支援(インフォーマルサービス)につなげる。			
3 介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定の公平性・中立性の確保	介護予防ケアマネジメント委託における事業所選定において、公平・中立性の確保を行うために、選定の理由を含め、基幹型包括へ年1回報告を行う。			
4 その他				
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫して できている	できている	工夫が必要	

地域包括支援センター事業計画書および評価:北部地区地域包括支援センター

令和4年度基幹からの重点事業および圏域の事業計画				
地域支援事業	包括的支援事業	一般介護予防事業		
基幹からの重点事項	地域の介護予防活動について状況把握を行い、住民が自ら参加できるように支援を行うこと。高齢者サロンや自治会の行事等、あらゆる機会を利用して介護予防の必要性や取組について啓発を行うとともに、身近な地域における住民主体の継続的な取組を支援すること。			
事業内容	令和4年度 圏域の計画	実施状況（自己評価）※いずれかに○ より工夫してできている できている 工夫が必要		
1 介護予防把握事業	地域に向けて介護予防（運動・口腔・栄養）の出前講座を行い、地域全体の介護予防の意識向上を図る。			
2 介護予防普及啓発事業	守山百歳体操の実施地域の継続に向けた後方支援を行う。			
	男性高齢者の閉じこもり予防と介護予防の推進を図る。			
3 地域介護予防活動支援事業	北公民館を拠点とした介護予防教室を実施し、各地域の中で活動の輪が広がるように支援する。また、参加者のフォローアップ（訪問や声掛け）に努める。			
	北公民館等において、アクティブシニアに向けた居場所・介護予防活動の拠点となるような仕掛けづくりを検討する。			
4 その他	サロンや出前講座等でもりやまプラス体操や介護予防手帳の活用について紹介し、住民が自主的に自宅でできる介護予防の取り組みを推進する。			
	地域の居場所や集いの場において、新型コロナ等感染拡大防止のための基本的な対策の意識付けを行う。			
圏域の自己評価	事業全体についての総括			
基幹からの評価	重点事業に対する達成状況 ※いずれかに○		コメント	
	より工夫してできている	できている	工夫が必要	

(様式3)

令和4年度収支計算書および収支予算書

守山市北部地区地域包括支援センター

(単位：千円)

(単位：円)

区分	項目		予算額			
			金額	積算根拠		
収入	委託料	市地域包括支援センター委託料	29,150			
	その他収入		0			
	収入合計 (a)		29,150			
支出	人件費	正規職員 (5人)	26,340	賞与、社保、退職共済合		
		臨時職員 (0人)				
	事務費	報償費	60	外部講師謝礼 福祉用具講習借入謝礼等		
		旅費	116	外部研修参加費・旅費		
		消耗品費	172	事務用品、複写機使用料、職員制服、日用品等		
		燃料費	120	車両燃料費		
		印刷製本費	97	配布資料等		
		医薬材料費	36	コロナ関連等 (消毒液、マスク等)		
		通信運搬費	523	電話・有線使用料、携帯電話使用料、光回線接続料		
		保険料	128	車両保険料、施設賠償保険料		
		使用料および賃借料	918	車両賃借料、事務機器賃借料		
		委託料	307	コピー機・PC関係等保守料、振込手数料等		
		備品購入費	30	事務用備品等		
		修繕費	213	車両・OA機器等修繕		
	その他雑費		90	茶葉代・他諸経費		
	支出合計 (b)		29,150			
収支差 (a) - (b)		0				

※この表は、毎年4月1日～翌年3月31日及び収支決算を記載して下さい。